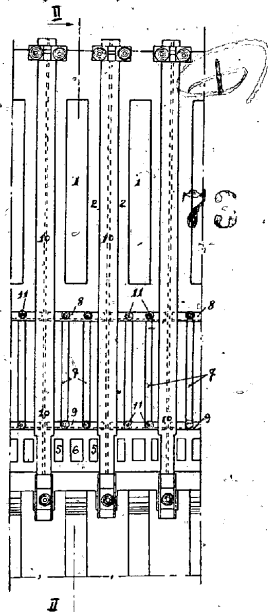


### 特許出願公告及特許拔萃

#### 特許公告拔萃

**爐廓式に配置せるコークス製造用水平室爐用の鉤着装置** 昭和 14 年特許出願公告第 6466 號, 公告 14-12-20, 獨逸國ドクター, シー, オットー, アンド, コムパニー) 本發明は圖示する如く中間壁を爐支持煉瓦積の前位に在る主鉤着支持體に支持せしめた補助鉤着支持體により保持せしむる様構成せしめた鉤着装置に係るもので爐支持煉瓦積の間に存在し室の長さ方向に貫走する蓄熱装置中間壁を有する爐廓式に配置したものである。

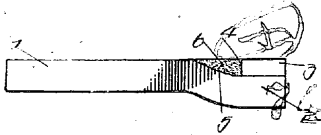


**製針法の改良** (昭和 14 年特許出願公告第 6469 號, 公告 14-12-20, 廣島, 濱井春造) 本發明は針素材に絲通孔を打貫き其貫孔したる部分或は針材全體を腐蝕溶解劑中に浸漬し適當時間放置又は動搖攪拌して後針材を取出し中和劑或は水にて針材に附着せる腐蝕溶解劑を除去せしむる方法であり孔の尖銳にして滑な弦角面となし絲の通りを容易ならしめ且磨擦を少くする特徴を有するものである。

**Mg 又は Mg 合金の着色及防蝕皮膜形成法** (昭和 14 年特許出願公告第 6470 號, 公告 14-12-20, 逓信大臣) 本發明は Mg 又は Mg 合金を染料溶液中に浸漬し之をオートクレーブ中で加熱して着色又は防蝕する方法に係るものである。

**高耐火斷熱材の製造法** (昭和 14 年特許出願公告第 6471 號, 公告 14-12-20, 東京, 近藤清治) 本發明は粘土質, 高アルミナ質, 珪石質及其他の耐火原料を以て斷熱材を製造するに當り原料配合物に適量の寒天又はテングサ類の溫稀薄液を加へ攪拌して泥漿を作りこの泥漿に適量の石鹼泡を混入攪拌し之を型に流込み成形し乾燥後燒成する斷熱材の製造法に係るもので多孔質で加熱に依る收縮少く強度大で且耐火度は原料配合物と同一であるといふ特徴を有する。

**附双バイトの製作方法** (昭和 14 年特許出願公告第 6510 號, 公告 14-12-20, 東京, 松繩信太) 本發明は圖示する如く適當の長さの硬鋼角材よりなる柄杆の一端を火造により下方に曲げ該下方に曲げたる先端部上面に高速度鋼よりなる刃片を載置し兩者を電氣熔接し刃片の先端と柄杆を下方に曲げた事により兩者間に生じた隙間に電弧熔接により盛金を施す附双バイトの製作方法に係るものである。



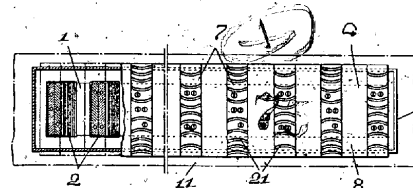
**鑄型製造機の型受盤反轉装置** (昭和 14 年特許出願公告第 6523 號, 公告 14-12-23, 東京, 松淵頼俊) 本發明は型受盤を支持する反轉軸の端部に廻轉輪を設け該廻轉輪を固定せる唧子桿に沿ひ運動せしめらるゝ唧筒と傳動的に連結し上記唧筒内の上記唧子桿に設けたる唧子の何れか一側に油壓を供給する如く構成したものである。

**弱粘結性石炭より高爐用コークスを製造する方法** (昭和 14 年特許出願公告第 6537 號, 滿洲國, 株式會社昭和製鋼所) 本發明は高揮發分弱粘結性の石炭に揮發分 25% 以下の半成コークス無煙炭粉コークス又は品位高き鐵鑛石等の一種又は二種以上を 10~40% 添加し毎平方糎 2 疋以下の壓力を加へて壓縮しつづ乾鑄するコークス製造法に係るものである。

**ニッケル鍍浮游選鑄法** (昭和 15 年特許出願公告第 30 號, 公告 15-1-10, 東京, 日本ニッケル株式會社) 本發明は蛇紋岩中に含有する Ni 鍍を微細に粉碎し先づ浮游選別又は比重選別に依り夾雜する珪酸マグネシウムをスライムとして除去し後に浮游劑を加へ浮揚せしめて Ni 含有分を採取する方法である。

**耐酸合金** (昭和 15 年特許出願公告第 31 號, 公告 15-1-10, 神戸, 熊野惠賜) 本發明は  $\alpha$  固溶體の組織を有する Cu, Al 合金を基礎合金とし之に對し銀 0.1~2.0%, Mn 0.5~1.5%, Si 0.5~1.5%, Mg 0.1~1.0% の成分を有する耐酸合金に係るものである。

**磁力選鑄機** (昭和 15 年特許出願公告第 70 號, 公告 15-1-10, 東京, 鈴木運次郎) 本發明は圖示する如く樋内に鐵石微粒を水流に依り搬送し途中に機框上一聯の磁石を前後に並設固定して其の各極

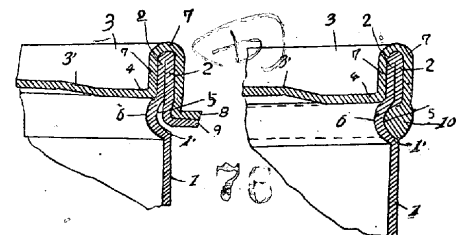


表面を互に適當間隔を保ちつつ前後一連續帶狀面上に揃へ之に對し該帶狀の斷續極面を軽く摺擦する如き關係に調帶を懸

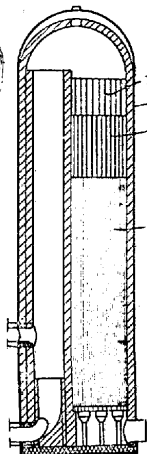
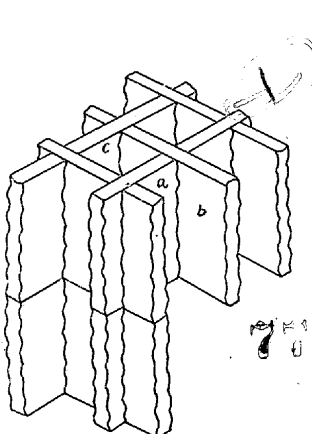
廻はし下手方向に運轉して磁力に依り鐵流中より精砂のみ採り調帶に吸着し之に緣て精砂を下手に搬行せしめ廢砂を上手に淘汰するに當り磁石の各極面上前後交互に粗密關係を變化せしむる如く全面に遍く一聯の縱溝を穿設する事により調帶の前進に伴て磁石の分布を左右方向に對し適當微細なる振幅と周期とを以て脈動せしむる様構成した磁力選鑄機に係るものである。

**金屬又は合金の合せ管製造法** (昭和 15 年特許出願公告第 79 號, 公告 15-1-15, 東京, 古河電氣工業株式會社) 本發明は桿片の内面を鼓形に削り又はかゝる形狀に鑄造し其の内部に内材を鑄造又は嵌合し又は心材の外表面を鼓形に削り又はかゝる形狀に鑄造し其の外部に外材を鑄造又は嵌合したレットを使用して合せ管を製造する方法で被覆率均一で從て機械的性質並に耐蝕性又は耐磨耗性等の均一な特徴を有するものである。

**ドラム罐製造法** (昭和 15 年特許出願公告第 80 號, 公告 15-1-15, 東京, 中村秀三) 本發明は圖示する如くドラム罐に於て其天地板底の周圍部附近の胴側壁に外部より凹圓溝を施すことに依り其内面に凸圓部を生ぜしめ以て天地板周圍部を支持せしむる如くなし更に其端部に於て共に折返したる天地板と胴壁の兩先端を共に熔融して生じたる熔鐵を其凹圓溝内に流入埋溜せしめて其の部分に補強層壁輪を構成せしめてドラム罐を製造する方法に係る。



熱風爐蓄熱用格子煉瓦積の改良方法 (昭和 15 年特許出願



公告第 87 號、公告 15-1-15、滿洲國、株式會社昭和製鋼所) 本發明は熱風爐蓄熱用格子煉瓦として曲面單波異型煉瓦を用ひ之をガス流に對して橫波に築造する方法で製造簡單な異型煉瓦を以て容易に築

造し且崩壊を防ぎ熱効率大なるの特徴を有する。

白系合金用鐵 (昭和 15 年特許出願公告第 88 號、公告 15-1-15、東京、池下辰次郎) 本發明は V 1~25%, Ag 10~45%, Cu 10~45%, Zn 又は Zn と Cd を 5~35% の組成を有する白系合金用の鐵に係るもので耐硫化性、耐酸性大で流れ良くガルバニ電流を生ずる事少なく特に Ni-Cr 合金等に使用して有效なものである。

温度の一定範圍に於て不變振動數又は不變偏倚を有する彈性作動體 (昭和 15 年特許出願公告第 89 號、公告 15-1-15、仙臺、金屬材料研究所長) 本發明は特許第 97033 號の擴張に係るもので Co 65~75%, Cr 5~15%, Fe 12~28%, の成分を有する彈性作動體に係る。

黃金合金 (昭和 14 年特許出願公告第 90 號、公告 15-1-15、京都、中塚豊一) 本發明は金銀及銅合金に於て Au 20~50%, Ag 16~30% となし尙 Mo 0.5~2%, W 0.2~0.5%, Zn 0~5%, Si 0.5~2.0% 殘餘として Cu を含有する合金に係り金の含量少なきにも拘らず金と類似の色澤を有し變色の憂なき特徴を有する。

鋼鐵燒結合金の製造法 (昭和 15 年特許出願公告第 91 號、公告 15-1-15、東京、古河電氣工業株式會社) 本發明は銅粉と鐵粉との混合物を壓縮成型する工程と壓縮中又は壓縮後不活性又は還元性氣中にて之等の金屬の熔融點以下に加熱して之等の金屬を擴散作用に依て結合せしむる工程と結合後 850~1,100°C より焼入する工程と焼入後 400~600°C で焼戻す工程とよりなる鋼鐵燒結合金の製造法に係る。

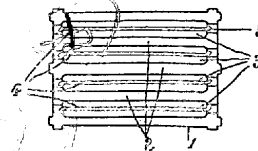
磁性合金 (昭和 15 年特許出願公告第 92 號、公告 15-1-15、東京、古河電氣工業株式會社) 本發明は Ni 35~55%, Cr 5~9%, Cu 5~9%, Mn 1.5~4%, 殘部 Fe よりなる磁性合金に係り電氣抵抗高くヒステレシス損失小なるの特徴を有する。

磁器質材料 (昭和 15 年特許出願公告第 95 號、公告 15-1-15、逓信大臣) 本發明は砂鐵を主成分とし之に硝子粉末を加へ更にこの混合物に金屬又は其の酸化物の粉末を添加又は添加せず燒成した磁器材料に係るもので金屬的觸感を有し高抵抗を有するものである。

耐酸耐アルカリ強力磁器の製造法 (昭和 15 年特許出願公告第 96 號、公告 15-1-15、京都、青武雄) 本發明は珪酸 80~50%, 苦土 50~10%, 礬土 5~30% を主成分とし之に少量の鹽化アムモニウム及タングステン酸曹達を加へ燒成することによりクリノエニスタタイト (MgO.SiO<sub>2</sub>), フォルステライト (2MgO.SiO<sub>2</sub>) の二成分系

化合物と珪酸、苦土、礬土よりなる化合物との三相混合物の極めて安定な共融晶を生成せしむることを特徴とする耐酸耐アルカリ強力磁器の製造法に係る。

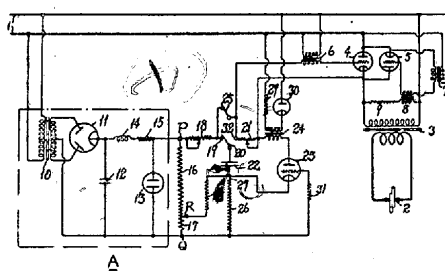
耐火煉瓦 (昭和 15 年特許出願公告第 97 號、公告 15-1-15、獨逸、ドクター、シー、オットウ、アンド、コムパニー、ゲゼルシャフト、ミット、ベシユレクテル、ハフツング) 本發明は圖に示す如く煉瓦内に設けた中間室内に飯針金又は金網等の如き金屬挿入物を配置せるコータス爐、レトルト爐及蓄熱室の裏裝用の煉瓦に係る。



耐火煉瓦 (昭和 15 年特許出願公告第 98 號、公告 15-1-15、大阪、北村文之助) 本發明は耐火度の最も必要とする面にカーボランダム又はアランダム層を形成せしめ以下順次にカーボランダム又はアランダムの配合量を減少せしめた耐火粘土層を適當數形成させ後耐火粘土より成る煉瓦主體を形成させた耐火煉瓦に係る。

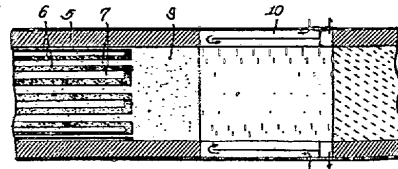
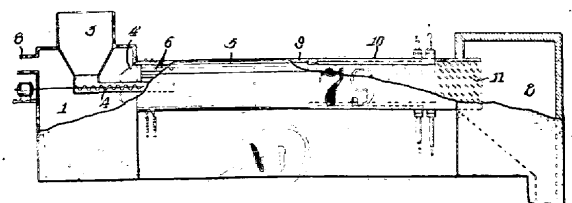
マグネシア耐火物製造法 (昭和 15 年特許出願公告第 99 號、公告 15-1-15、關東州、南滿洲鐵道株式會社) 本發明は特許第 130836 號の追加發明に係りマグネサイトよりマグネシヤクリンカー或はマグネシア煉瓦等を製造するに當り之に少量の酸化チタン又は酸化チタンと酸化鐵とを含む物質を添加して還元氣中又は還元劑の存在の下で加熱燒成する方法である。

電氣抵抗熔接裝置 (昭和 15 年特許出願公告第 129 號、公告 15-1-15、大阪市、大阪電氣株式會社) 本發明は熔接用變壓器の一次側に直列挿入せる格子制御放電管の格子制御回路に充放電振子回路を接続すべくした電氣抵抗熔接裝置に於て熔接主回路の電源にて附勢

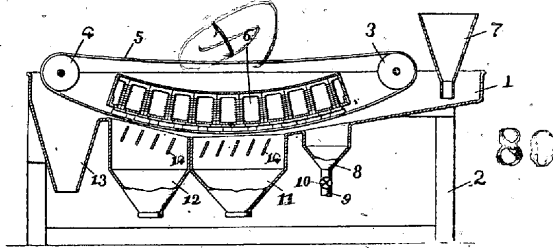


せらるゝ制御用變壓器の一次側に整流管と抵抗とを直列に挿入し其二次誘起電壓を充放電振子回路の時限電壓に重疊せしめた抵抗熔接裝置に係るものである。

海綿鐵製造用電氣迴轉爐 (昭和 15 年特許出願公告第 131 號、公告 15-1-15、川崎市、廣島吉治) 本發明は圖に示す如く原料裝入室と排鐵室とか共に密閉せられ其の間に迴轉爐胴を配置し該爐胴の裝入端に電熱抵抗體を配置して加熱還元帶となし次に耐火煉瓦よりなる中間緩衝帶を設け最後に急冷擴散帶を設けた海綿鐵製造用電氣迴轉爐に係るものである。

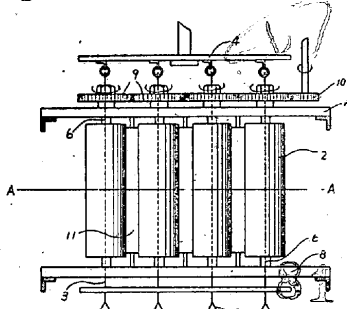


**乾式磁力選鑛法**（昭和 15 年特許出願公告第 132 號，公告 15-1-15，東京，鈴木運次郎）本發明は圖に示す如く帶磁性を有する金屬又は其化合物を含む鑛石の粉末を氣體流中に混合せしめ例へば緩く水平狀に懸架せられ其の下手内側に下向狀の磁石を定裝した無端廻行帶を内設せる樋の一方より供給し其の樋底より氣體を噴出せ



しと該無端帶の下手外側面に沿ひ其の移行と共に射入せしめつゝ該氣對流の通路に於て磁力に依り之に混入せる帶磁性物質のみを吸引集着せしめて搬送し他の非磁性夾雜物より分離選別する磁力選鑛法に係る。

**電氣收塵裝置**（昭和 15 年特許出願公告第 133 號，公告 15-1-15，東京，福田節雄）本



發明は圖に示す如く互に廻轉し得る様配置した復數個の圓筒を收塵電極として其の外面に於て收塵せしむべくなし收塵物は之を放電電極と對向せざる圓筒の側面に於て落下せしむる様構成した電氣收塵裝置に係るものである。

**特 許 抜 萃**

番 號	名 稱	特 許 權 者	公 告 抜 萃
132670	工業用爐の火口	ドルトムンド、ヘルデル、ヒユツテンフェルアイン、アクチエンゲゼルシャフト	—
132680	低炭素鋼の製造法	日本鋼管株式會社	—
132701	硫黃製煉爐のダンパー	高野喜助	25—8
132737	煙焔を電極又は導體とする高周波電流に依る原鑛處理裝置	日本高周波重工業株式會社	—
132760	殊にガスより硫黃化合物を除去するガス清淨機	アウグ、クレンネ	—
132768	アルミニウム又は其の合金の表面に大理石模様を形成する方法	理研アルマイト工業株式會社	—
132810	金鑛選鑛セツトラ	河合勇	—
132822	磁氣的分離機	チエルベルジ株式會社	—
132843	高級鑄鐵の製造法	株式會社川崎造船所	—
132865	鐵又は鐵合金又は銅合金に錫又は鉛又は錫鉛合金を鍍金する方法	濱田隆	— 25—8
132866	保護被層を有する金屬版製造方法	津村芳三	— 25—8
132892	亞鉛苦土等及含有する沈澱物の處理法	帝國人造絹絲株式會社	—
132905	點 熔 接 機	東京芝浦電氣株式會社	—
132924	乾式製煉煙灰より金屬の回收法	三菱鑛業株式會社	—
132934	廻轉管狀爐による銑鐵製造法	日本特殊鋼管株式會社	—
132942	金屬の精製方法	日本高周波重工業株式會社	—

**大本營陸軍報道部發表 1 月中の綜合戰果**

（冬季攻勢を反撃掃蕩遺棄死體 70,000 を超ゆ）

大本營陸軍報道部では支那における 1 月中の綜合戰果を 26 日次の如く發表した、1 月における主要作戰は敵の冬季攻勢に對する我軍の反撃、掃蕩戰であつて敵の遺棄死體は 77,600 を算し捕虜の數も 4,600 を超えてゐる

**1 月中の事變綜合戰果**

	北 支	中 支	南 支	累 計
敵側總兵力	297,000	317,500	288,800	903,300
敵遺棄死體	18,800	25,700	33,100	77,600
敵の捕虜	2,414	1,035	1,229	4,678
<b>鹵 獲 品</b>				
野 山 砲	3	2	20	25
速 射 砲	—	1	13	14
迫 撃 砲	3	3	45	51
重 機 關 銃	14	21	82	117
輕 機 關 銃	64	180	402	646

小 銃	4,374	3,695	7,092	15,161
拳 銃	478	43	—	521
手 榴 彈	15,000	13,200	13,792	41,992
戰 車	—	—	11	11

其他彈藥、器材、被服等多數あり

【備考】本月中における主要作戰は敵の冬季攻勢に對する反撃掃蕩戰にして概ね次の如し

北支方面—包頭南方オルドス沙漠地帯の掃蕩河北省南部及山西省東南部大行山脈方面の肅清

中支方面—江北應山・隨縣附近西大別山系方面、安慶及河口鎮附近、江南宗陽通城方面太湖南方地區及杭州附近錢塘對岸廬山方面の掃蕩

南支方面—廣東方面周邊地區の掃蕩及南寧欽州附近の反撃

（中外商業 2 月 27 日）